

# 「地域×デジタル」共創の場づくり

## ～地域課題解決に向けた連携推進の枠組みづくり～

### ○ 概要

生産年齢人口の減少、地域産業や雇用の縮小などの課題を抱える地域において、関係者が課題を共有し、その解決策の提案等を行う場を設置し、デジタル技術の活用等による地域課題の解決を進める。

### ○ 実施体制、事業の流れ

- ・広域エリア（圏域単位や複数市町村）を対象に、県・市町村、企業、大学等の関係者による「連携推進会議」を設置し、コーディネーターを配置（中山間エリアを想定）。
- ・まずは、オンライン会議等を通じて、課題を洗い出し解決策を検討。これを踏まえ、テーマごとにWGを設置し、プロジェクトの検討、実施主体の立ち上げ等につなげる。

#### <実施体制>

#### 〇〇地域連携推進会議

- ・市町村
- ・企業、NPO
- ・大学等
- ・県(事務局)

コーディネーター  
を配置

提携

（テーマに応じて）  
DX企業  
県内IT企業

情報提供・助言  
財政支援等

本庁関係課  
（支援チーム）

デジタル戦略推進課

#### <事業の流れ>

#### <1年目>

#### 課題の洗い出し、対応策の検討

- ・オンライン会議の開催（課題の共有、テーマ設定、対応策の検討）
- ・専門家を招聘したオンライン講演会、勉強会の開催

#### <2年目～>

#### 課題解決プロジェクトの展開

- ・実施主体の立ち上げ、プロジェクト（事業）の展開
- ・連携推進会議の開催（次年度の実施計画検討）等

#### 【プロジェクトの例】

- ・マイナンバーと紐づいたIDやキャッシュレス決済を活用したMa a Sや商店街活性化
- ・買い物弱者対策、地域の足の確保など生活サービス提供
- ・5Gを活用した防災、学校間の交流のプラットフォーム形成
- ・ICT活用スキル向上のためのリカレント教育 等